

教科	地理歴史	科目	地理B	担当	
履修学年	3年	単位数	3	履修区分	普通科理系 (必修 2・3年分割履修)
教科書	新詳地理B (帝国書院)、基本地図帳 (二宮書店)				
副教材等	最新地理図表 G E O (第一学習社) データブック オブ ザ ワールド 2022 (二宮書店)				

1 学習目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。現代世界の諸地域を、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。

2 学習評価

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追及し、国際社会に主体的に生きる社会人としての責任を果たそうとする。
b	思考・判断・表現	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
c	資料活用の技能	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
d	知識・理解	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追及の方法を理解し、その知識を身に付けている。

3 全体計画

期	月	内容の まとめり	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点				単元の評価規準	評価方法	
					a	b	c	d			
前期	4	3人口、都市・村落	③ 村落と都市	・村落の機能と立地要因 ・都市の形成過程について	○			○	a : 村落と都市について関心と課題意識を高める。 b : 村落と都市について、系統地理学的に捉えて多面的に考察する。 c : 村落と都市の資料から、有用な情報を適切にまとめる。 d : 村落と都市について、系統地理的に理解している。	・プリントへの記入状況 ・資料の読み取り ・統計資料の加工	
			④ 都市と居住空間	・都市システムと階層性 ・大都市圏の構造について		○	○				
	5	4生活文化、民族・宗教	① 生活文化	・民族と宗教について、民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活との関わりについて考察する。			○	○	a : 生活文化、民族と宗教、国家に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 b : 多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c : 資料を収集し、地域的差異や画一化について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d : 系統地理的に捉える視点や考察方法を理解している。	・プリントへの記入状況 ・写真等の活用	
			② 民族と宗教	現代世界の国家について、国境と領域のきまりやさまざまな国家の分類について考察する。	○			○			
	6	3	③ 現代世界の国家	③ 現代世界の国家	現代世界の国家について、国境と領域のきまりやさまざまな国家の分類について考察する。	○			○	a : 村落と都市について関心と課題意識を高める。 b : 村落と都市について、系統地理学的に捉えて多面的に考察する。 c : 村落と都市の資料から、有用な情報を適切にまとめる。 d : 村落と都市について、系統地理的に理解している。	・資料の読み取り
				④ 民族・領土問題	民族領土問題について、現代世界の民族・領土問題を大観し、日本の民族や領土、世界の民族の共生についての課題を考察する。	○			○		
前期中間考査											
前期	6	第Ⅲ部現代世界の地理的考察 1 現代世界の地域区分	④ 民族・領土問題	民族領土問題について、現代世界の民族・領土問題を大観し、日本の民族や領土、世界の民族の共生についての課題を考察する。	○			○	a : 民族・領土問題に対する関心と課題意識を高めている。 b : 世界各地や日本の事例を取り上げ、問題が起こる背景や、民族が共生するための方策を、多面的・多角的に考察・表現している。 c : 資料を収集し、民族・領土問題について図表などにまとめる。 d : 系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身に付けている。	・プリントへの記入状況 ・写真等の活用 ・資料の読み取り	
	5		① 地域区分とは何か ② 地域区分のさまざまなスケール	地域区分のさまざまなスケールについて、大地域と小地域のスケールによる違いを理解し、有用性に気づく。		○	○		a : 地域区分のスケールに対する関心と課題意識を高めている。 b : 地域区分の意義や有用性を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c : 資料より地域区分におけるスケールとは何かについて読み取る。 d : 大地域と小地域のスケールによる地域区分の違いの意義、有用性を理解し、知識を身に付けている。	・プリントへの記入状況 ・写真等の活用 ・資料の読み取り	
	9	2 現代世界の諸地域	① 地誌の考察方法	地誌的に考察する方法として、対照的又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法があることを理解する。	○	○	○	○	a : 地誌的に考察する三つの方法の理解を基に、地誌に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し捉えようとしている。 b : 三つの方法の考え方にどのような特徴があるのかを、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c : 資料を適切に収集し、地誌の考察方法について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d : 三つの方法とはどのような捉え方を理解し、その知識を身に付けている。	・プリントへの記入状況 ・写真等の活用 ・資料の読み取り	
前期末考査											

期	月	内容の まとめり	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点				単元の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
後 期	9		②各地域 ・東アジア ・東南アジア ・南アジア ・西アジア ・中央アジア ・北アフリカ ・中南アフリカ	世界の地域別に、自然、歴史と文化・民族、産業等多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。	○	○	○	○	a：地域に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 b：地域的特色や地球的課題を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：諸資料を収集し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：地域的特色や地球的課題について、項目ごとに整理して静態的に考察する方法を理解し、その知識を身につけている。	・プリントへの記入状況 ・写真等の活用 ・資料の読み取り
	10		・ヨーロッパ ・ロシア ・北米 ・中南米 ・オセアニア		○	○	○	○	a：地域に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 b：地域的特色や地球的課題を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：諸資料を収集し、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d：地域的特色や地球的課題について、項目ごとに整理して静態的に考察する方法を理解し、その知識を身につけている。	
	11	3	現代世界と日本	・日本	日本が抱える地理的な諸課題を探究する活動を通して、解決の方向性や将来の国土のあり方などについて展望する。	○	○	○	○	a：日本への課題意識を高め、それを追究し、捉えようとしている。 b：多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c：資料を適切に収集し、日本の国土について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：日本の特色や日本の地理的な諸課題を理解し、その知識を身につけている。
後期中間考査										
	11	総復習 共通テスト演習 私大・二次演習								
	2									

#### 4 考査の観点別配点

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
a	15	15	15	
b	25	25	25	
c	20	20	20	
d	40	40	40	
計	100	100	100	0

#### 5 授業や課題等に取り組む上での留意点

- ・授業内容の理解を進めるには、背景知識とリンクさせながら「考える」ことが大切である。
- ・極力、課題等は減らしスリム化を図るので、授業に集中すること。